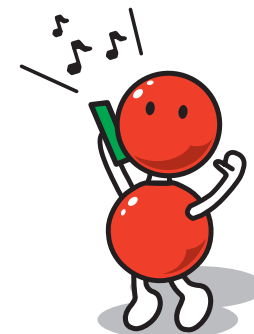
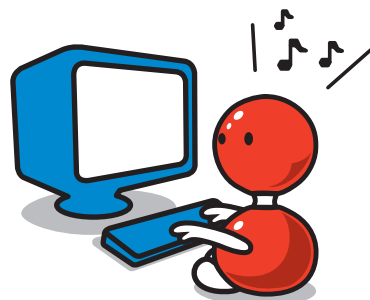
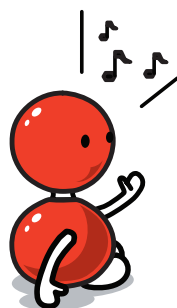


株主・投資家の皆さまへ

2008.1.1 ▶ 2008.6.30



株式会社ジュピターテレコム
JASDAQ
証券コード:4817



目次	■ J:COM NET	09	■ 連結財務諸表	13	
■ ごあいさつ	01	■ J:COM PHONE	10	■ 株主さまアンケート結果	15
■ J:COMの成長戦略	02	■ J:COM MOBILE	10	■ IR活動	16
■ 特集!! 有料多チャンネル市場活性化への取り組み	03	■ 当中間期のトピックス	11	■ 地域貢献活動	17
■ J:COM TV	07	■ 営業活動の指標	12	■ 会社の概要	18

株主・投資家の皆さまへ



株主ならびに投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ジュピターテレコムグループの2008年中間期における連結業績は、総加入世帯数は276万世帯に増加し、営業収益及び営業利益は、それぞれ1,438億円、254億円と、増収増益を達成することができました。これも、従来から取り組んできた「ボリューム＋バリュー戦略」に加え、「番組戦略」を成長戦略の基軸に据え、加入世帯数の増加とサービスの付加価値向上、さらには番組の質の向上に注力して事業を推進してきた結果であると認識しております。

特に、2008年度は、「ケーブルテレビサービスの成長力の強化」を最重要課題と位置付け、当中間期におきまして様々な施策に取り組んでまいりました。とりわけ、新たなチャンネルを複数追加するなど、チャンネル内容の拡充に努めました。また、当社の強みである地域に密着したお客さまとの接点の多様化にも注力しました。今後も引き続き競合他社との差別化を図り、お客さま満足度の高いサービスを提供してまいります。

このたび当社は、当中間期より配当を実施することといたしました。中間配当金につきましては、1株当たり250円の特別配当を含む500円とさせていただきます。

当社は、今後も多チャンネル市場の活性化を通して企業価値の最大化を目指してまいりますので、株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年9月

代表取締役社長 最高経営責任者

森泉知行

企業価値の最大化

有料多チャンネル市場の活性化

JUPITER TV

国内最大の番組事業統括運営会社

番組の質の向上

+

J:COM

国内最大のケーブルテレビ局統括運営会社

規模の拡大
(ボリューム)

+

アープ
ARPU*の増加
(バリュー)

+

新規事業

ボリューム戦略（規模の拡大）

加入世帯数の増加により規模の拡大を図る戦略です。エリア内の幹線の延伸や、地理的に近接したケーブルテレビ会社への資本参加によるエリアの拡大に加え、地域密着営業の推進及びマーケティング力向上による販売力の強化を行っています。

バリュー戦略（アープ ARPUの増加）

加入世帯当たり月次収入（アープ
ARPU）の増加を図る戦略です。世帯当たり加入サービス数の増加と、ケーブルテレビのデジタルサービス比率向上などによりアープ
ARPUの増加を推進しています。

番組戦略（番組の質の向上）

番組の質の向上を図る戦略です。2007年9月に国内最大の番組事業統括運営会社、株式会社ジュピターTVと合併したことにより、お客さまのご意見やご要望を直接番組の制作・編成に反映させることが可能となりました。また、チャンネル内容の見直しや拡充、さらに新ジャンルの開拓を行っています。

●出資チャンネル一覧



*アープ
ARPU：加入世帯当たり月次収入



u:go
ユーゴ

J:COMのイメージキャラクターを務めてきたu:goが、このたびイメージチェンジをしました。皆さまに、より親しみを感じていただける柔らかさや愛らしさを加え、J:COMのエンターテインメント企業としてのイメージ確立をお手伝いしていきます。

特集!! J:COMの有料多チャンネル市場 活性化への取り組みを探る



u:goがお伝えするJ:COMの「今」。

現在、まさにJ:COMが取り組んでいるのが「ケーブルテレビサービスの成長力の強化」です。このJ:COMの取り組みについて、その背景、具体的な取り組みの内容などをu:goとともに探っていきましょう。

LaLa TV 「クローザー」シーズン3
TM & (C) Warner Bros. Entertainment Inc.



ゴルフネットワーク
(C) Getty Images



アニマルプラネット
(C) 2008 Discovery Communications Inc.



ディスカバリーチャンネル ハイビジョン
(C) 2008 Discovery Communications Inc.



ムービープラス「ニュー・シネマ・パラダイス」
(C) 1989 CristaldiFilm





ケーブルテレビを取り巻く環境

2011年7月の地上デジタル放送完全移行に向けての動きが活発に。

2011年7月24日までに現行の地上アナログ放送は終了し、地上デジタル放送に完全移行する予定です。

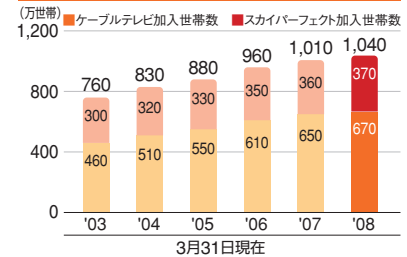
デジタル化によって、高画質・高音質番組の提供が可能となるばかりでなく、双方向番組、高齢者や障害者にやさしい福祉番組、暮らしに役立つ地域情報の提供が期待されています。

ケーブルテレビ業界においても、完全にデジタル放送に移行すれば、従来アナログ放送で使用していた帯域を利用して、新たな付加価値サービスの提供が可能になり、新たなビジネスチャンスが生まれることとなります。

有料多チャンネル市場の成長に求められるのは番組の質の向上。

国内の有料多チャンネル放送サービスの加入世帯数は着実に増加し、2008年3月末には世帯普及率は約20%となっています。さらに普及率を上げていくためには、魅力のある番組の提供が不可欠です。そのために、当社は業界を挙げてこの課題に取り組んでいきます。

有料多チャンネル市場の推移



出所：放送ジャーナル（2008年7月号）、
（株）スカイパーフェクト・コミュニケーションズ公表資料

2008年度の重点施策

他社にない強みを活かしてケーブルテレビサービスの成長力を強化します。

当社がさらなる成長を遂げるためには、市場全体の成長を加速させ、市場そのものを拡大していく必要があります。

そこで、当社の原点がケーブルテレビであることに立ち返り、より魅力ある番組の提供を目指すとともに、お客さまとの接点の拡充に努め、ケーブルテレビサービスの成長力を強化してまいります。

具体的な取り組み

●より魅力ある番組の提供

番組の質の向上を図るとともに、チャンネル内容の見直し・拡充により、お客さまにとって魅力ある番組の提供に取り組んでまいります。

●お客さまとの接点の拡充

ケーブルテレビサービスの魅力をお客さまにご理解いただくために、直接営業員による戸別訪問営業に加え、お客さまとの接点の多様化を推進してまいります。

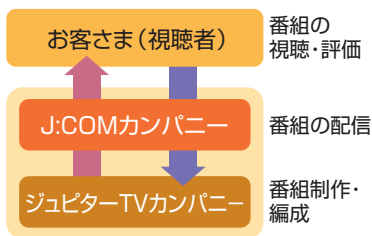
重点施策1 より魅力ある番組の提供。

視聴者の声を反映した番組の制作・編成に努めています。

2007年9月のジュピターTVとの合併により番組の制作・編成から、テレビサービスの配信まで、一貫したサービスが可能になりました。

番組配信のためのインフラと、優良なコンテンツの双方を持つことは、放送事業において最大の強みです。さらに、直接営業員による戸別訪問営業やカスタマーセンターに寄せられる、お客さまの生の声を番組の制作・編成に反映できるのも他社にない強みです。

当社グループの経営資源には、直接営業員やカスタマーセンターを通じて寄せられる番組に関するお客さまの生の声に加えて、独自に実施している番組の視聴率調査があります。ケーブルでお客さまと直接つながっているからこそ、正確で貴重なデータ(お客さまの属性・視聴時間帯など)を番組の質の向上に反映できることも強みです。



具体的な取り組み

新たに導入したチャンネル



「チャンネル銀河」の放送開始。

2008年4月より「チャンネル銀河」の放送を開始しました。現在の地上波では得られない高い満足度、高品質な番組を求める団塊の世代を中心とするシニア層を主なターゲットとした初のチャンネルです。国内外のドキュメンタリー、紀行、歴史・美術、ドラマ、時代劇、エンターテインメントなどあらゆるジャンルを網羅した番組を総合的に編成し、24時間・ハイビジョンフォーマットで放送しています。



チャンネル銀河
銀河ドラマスペシャル「男たちの旅路」
©NHK 2008年9月放送作品



チャンネル銀河
金曜プレミア時代劇
「秘太刀(ひだち)馬の骨」
©NHK
2008年9月放送作品

チャンネル内容の見直し・拡充。

2008年3月に、サスペンス・犯罪捜査専門チャンネルである「サスペンスシアター FOXCRIME」の放送を、4月にはSF映画・ドラマの専門チャンネルの「SCI FI (サイファイチャンネル)」の放送を開始しました。いずれも米国で高視聴率を獲得している番組です。当社グループでは、今後も積極的に魅力あるチャンネルの新規導入や入れ替えにより、番組の魅力向上を図っていきます。



サスペンスシアター FOXCRIME
[LAW & ORDER 性犯罪特捜班]
©Universal Television Distribution



サイファイチャンネル
「ユリカ〜事件です! カーター保安官〜」
(C)2007
Universal Network
Television LLC.
All Rights Reserved.

重点施策2 お客様まとの接点の拡充。

お客様の生活に密着した販売ルート拡充しています。

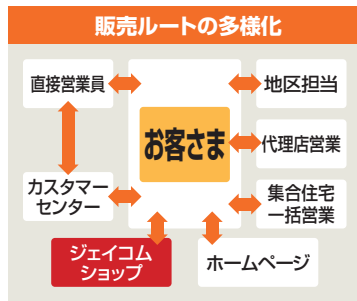
当社は、全国に約2,200名の営業員を配置し、お客さまを直接訪問するコンサルティング型の地域密着営業を展開しています。さらに、ご加入後は「地区担当」という専門部隊がお客さまのご要望に応じ機器の操作方法のご説明など、きめ細かなサービスを行っています。今後はさらに直接訪問以外の販売ルートの多様化を図り、お客さまとの接点の拡充を図ります。



具体的な取り組み

さらなる販売ルートの多様化。

販売ルートの多様化を推進する施策の一つが「ジェイコムショップ」の展開です。駅前などの人通りが多い場所に小規模な店舗を開設し、サービスの認知度向上やサービスの相談窓口として、また新規の加入契約の獲得を目指しています。2008年6月末現在で37店舗を運営しており、2008年末までには55店舗に拡大し、全国展開を図ります。



ジェイコムショップへようこそ!

実際にJ:COMのサービスを体感して楽しさを感じていただくように心がけています。

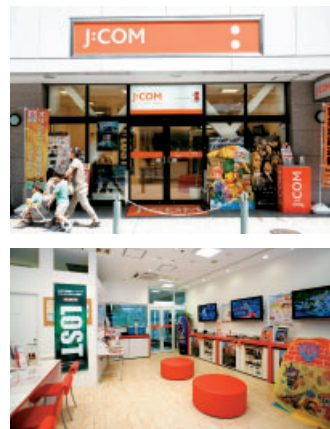
ジェイコムショップ藤沢店は、湘南地域におけるジェイコムショップの第1号店として2008年5月に開店しました。新サービスの体感コーナーを設置しておりますので、実際に触れて体験していただけます。また、丁寧な説明・対応により、ご納得の上でアップグレードや新規加入をご検討いただけるよう心がけています。ご近所の方の口コミでご来店いただくお客さまもいらっしゃり、今後も地域社会に愛されるお店づくりを目指したいと思っています。



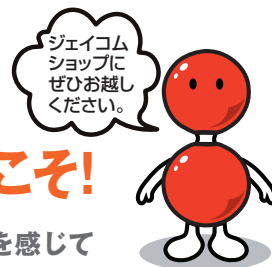
ジェイコムショップ藤沢店
店長 入江 健治

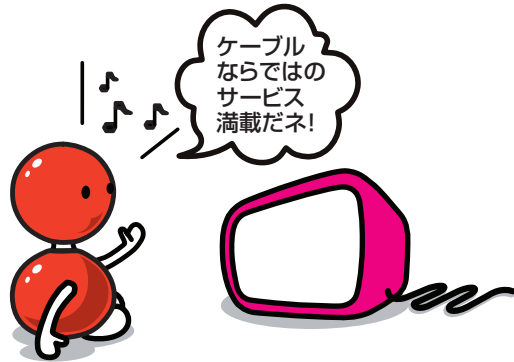
ジェイコムショップでできること。

- 1 洋画に邦画にドラマにアニメ。魅力的な専門チャンネルを視聴。
- 2 電子番組表を使って、録画やジャンル検索を体験。
- 3 自分の街の地域情報を検索。
- 4 高速インターネットを使って動画サイトの体験。
- 5 実際の地震のときにどんな音で知らせるのか、地震速報を体験。



ジェイコムショップ藤沢店





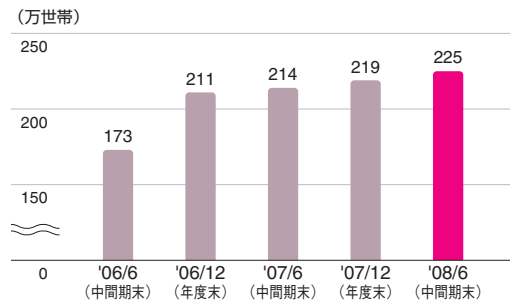
J:COM TVの概要

「J:COM TV デジタル」では、地上波・BS・ケーブルデジタル放送など合計で67チャンネル以上の豊富で魅力的なチャンネルを提供しています。さらに、ビデオオン デマンド(VOD)や、ハードディスクレコーダー「HDR」、ハイビジョン番組といったデジタルならではの最先端のサービスを提供し、魅力あるケーブルテレビサービスを展開しています。

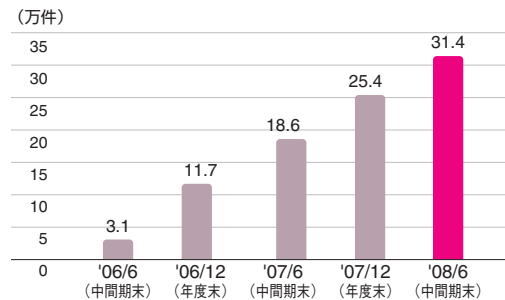
当中間期の実績

J:COM TVの加入世帯数は、既存エリアでの増加及び新たにエリアが加わったことにより、前年同期末と比較して5%増の225万世帯となりました。また、VOD、「HDR」、ハイビジョン番組を中心とするデジタルサービスの推進により、デジタル化率(ケーブルテレビサービスの全加入世帯に占めるデジタルサービス加入世帯の比率)が前年同期末と比較して14ポイント上昇し73%に達しました。

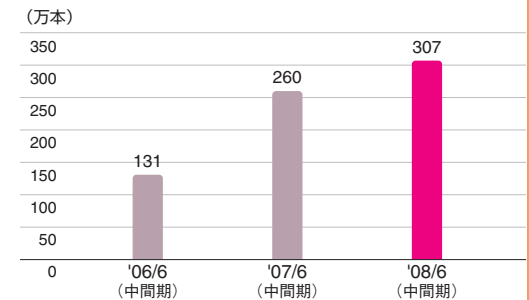
J:COM TV 加入世帯数



ハードディスク内蔵セットトップボックス「HDR」契約数



「J:COM オン デマンド」購入数



VODサービスは J:COM オン デマンド

ライフスタイルに合わせ、好きなときに観たい番組をリモコンひとつで視聴できる「J:COM オン デマンド」。

映画、ドラマ、スポーツ、アニメなど約14,000タイトル(2008年6月末現在)の中から、好きなときに観たい番組をリモコンひとつで視聴することができます。さらに、視聴可能時間内であれば、何度でも簡単・便利にご利用いただけます。このような利便性の高さを評価いただき、当中間期における購入数は307万本となりました。

また当社グループでは、NHKが2008年12月に開始予定の「NHKオンデマンド」を配信することを決定しました。これにより、「J:COM オン デマンド」の一層の利用率の向上とともに、VOD市場の活性化が期待されます。



「魔法にかけられて」(c) Disney
2008年秋 配信



「太祖王建 (ワンゴン)」
(c)KBS

ハードディスク 内蔵型 STB「HDR」

大容量ハードディスクとダブルチューナー搭載の「HDR」で「録る」・「観る」がパワーアップ！

専用チューナー（セットトップボックス）にハードディスクを搭載した「HDR」。ハイビジョンの画質のまま録画ができ、裏番組録画や2番組同時録画も可能。さらに電子番組ガイドによる簡単録画予約、追っかけ再生などの多彩な機能でテレビサービスを満喫できます。デジタルサービスの月額利用料に840円（税込）を追加するだけで利用できること、その利便性の高さから契約数は順調に増加し、2008年6月末現在の設置数は31万件を超えました。

ハイビジョン 番組

大迫力で高画質・高音質のハイビジョン番組をお茶の間に！

J:COM TVデジタルは、高画質・高音質なテレビ方式であるハイビジョンを採用した番組を数多く提供し、競合他社との差別化を進めています。現在、ハイビジョンチャンネルとして地上デジタル、BSデジタルの他に、ディスカバリーチャンネル ハイビジョン、FOX HD、ムービープラスHD、LaLa HD、J sports Plus、スター・チャンネルハイビジョン、そして2008年4月からはチャンネル銀河などを提供しています。

ハードディスク内蔵型STB「HDR」



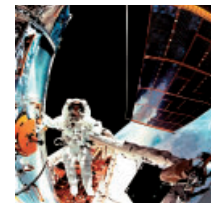
LaLa TV 「クローザー」 シーズン3
TM & (C) Warner Bros.
Entertainment Inc.



ディスカバリーチャンネル ハイビジョン
(C) 2008
Discovery Communications Inc.



ムービープラス
「ニュー・シネマ・パラダイス」
(C) 1989 CristaldiFilm



ディスカバリーチャンネル ハイビジョン
(C) 2008
Discovery Communications Inc.

視聴者の皆さまの求める、満足度と品質の高い番組をお届けしていきます。



私は、2008年4月にスタートしたチャンネル銀河で、主に番組のプロモーションに携わっています。チャンネル銀河では、団塊の世代を中心とするシニア層が求める品質の高いチャンネルとして、放送時間の約三分の一をNHKのアーカイブ番組で構成しています。私はリアルタイムで観たことのない番組ばかりですが、今観ても古さを感じない魅力をお伝えすることを心がけています。日々コールセンターに寄せられる視聴者の皆さまの声を聞きながら、より良い番組をお届けしたいと考えています。

チャンネル銀河株式会社
マーケティング部
徳山 真知子

J:COM TV ココがポイント

2011年完全デジタル移行に向けて

2011年7月の地上デジタル放送への完全移行に先立ち、J:COMではデジタル加入世帯数の増加を推進し、2009年末までにデジタル化率100%の達成を目指します。

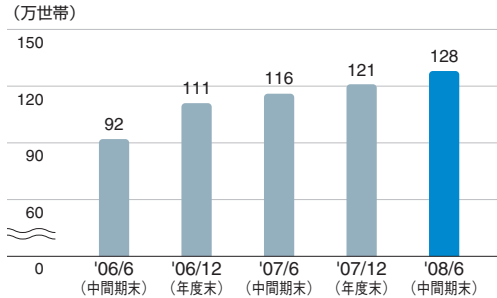
- J:COMデジタル化100%プロジェクトの推進
- 「テレビはJ:COM」キャンペーンの展開



J:COM NETの概要

高速インターネット接続サービスでは、主に超高速の160メガコースと、30メガコース・8メガコースの3タイプを提供。また、ライトユーザー向けの256キロタイプ、集合住宅向けの100メガタイプも提供しており、幅広い品揃えをご用意しています。高速化を実現しつつも、誰にでも安心してご利用いただけるように、無料でご利用いただけるセキュリティサービスで安心・安全・快適なサービスを提供し、お客さま満足度の向上を図っています。

J:COM NET 加入世帯数



当中間期の実績

J:COM NETの加入世帯数は前年同期末と比較して11%増加の128万世帯となりました。うち2007年4月に一部地域で開始した160メガ超高速インターネットサービスの加入世帯数は、提供エリアの拡大に伴い、2008年6月末時点で5万世帯を超えました。



他社にはない、充実したサポート体制で、お客さま満足度の向上を目指します。



J:COM NETサポートセンターは、ご加入のお客さまからお電話で、インターネットの接続方法や、電子メールなどの各種設定に関するお問い合わせをいただく部署です。初心者のお客さまやご高齢のお客さまに対しても分かりやすく快適なサービスを提供するため、遠隔サポートシステムをいち早く取り入れるなどの取り組みを行っており、高い評価をいただいております。またJ:COM NETでは、セキュリティサービス等の各種サービスを無料にてご提供させていただくなど、内容も充実しており、他社にはない高水準のサービスの提供とサポートによりお客さま満足度の向上を常に目指しています。

カスタマーオペレーション部
J:COM NETサポートセンター
マネージャー
布施 文

J:COM NET ココがポイント

2008年7月には160メガの超高速インターネットサービスの全国展開をほぼ完了し、光ファイバーと遜色のない超高速インターネット接続サービスを提供していきます。さらに、通信速度の高速化だけでなく、セキュリティの強化やご家族全員で楽しめるサービスの拡充により、お客さまの快適なインターネットライフの実現をお手伝いします。



品質の高さと安心の保守体制で
電話サービスを提供しています。

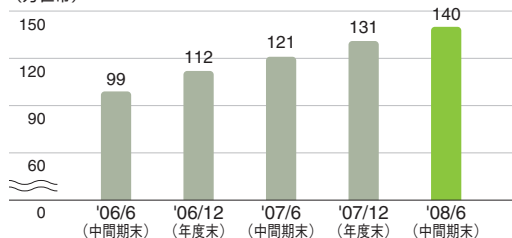


J:COM PHONEの概要

従来的一般加入電話と同等の品質で、ナンバーポータビリティや緊急通報にも対応している固定電話サービスを提供しています。さらに、電話サービスを月額基本料金、通話料金ともに割安な料金で提供しています。

J:COM PHONE 加入世帯数

(万世帯)



当中間期の実績

J:COM PHONE加入世帯数は、前年同期末と比較して16%増加の140万世帯となりました。

J:COM PHONE ココがポイント

お客様の生活を支えるライフラインとしての信頼性を一層高めつつ、2008年2月に国際電話特割サービスの対象地域を拡大するなど、ご利用いただきやすいサービスを提供していきます。

J:COM MOBILEの概要

J:COMでは、株式会社ウィルコムと提携し、モバイルサービスを提供しています。固定電話サービスとともにご利用いただくことで、価格的にも競争力のあるサービスとなっています。また、音楽CDと同様の音声圧縮方式なので、クリアな音質を実現しています。さらに他サービスとの一括請求などで利便性を高め、お客様の満足度を高めています。

J:COM MOBILE ココがポイント

電話機購入方法として主流になりつつある分割払いの販売方法を導入し、電話機がお求めやすくなりました。今後もモバイルサービスの充実を図っていきます。

'08年4月発売
WX331K



'08年4月発売
WX330K

顔が見えるサポートでお客様に「安心」「喜び」「信頼」を提供しています。



私は、練馬・板橋エリアにおいて、J:COMのサービスにご契約いただいたお客様に、サービス提供するための導入設置工事を行っています。「ケーブルテレビがきれいに映ること」「インターネットがつながること」「電話の音声がきれいに聞こえること」にさらに付加価値をつけ、快適にサービスをご利用いただけるよう丁寧な説明を心がけています。また、2ヵ月に1回程度お客様向けに「リモコン操作説明会」を行っていますが、毎回抽選させていただくほどご好評を得ています。直接お客様のお宅に伺うことで培った関係こそが私たちの財産であり、大切にしていきたいと思っています。

東日本事業本部
東京技術センター
中屋 恵一





2 / 29
こうべケーブルビジョンの
事業譲受



サスペンスシアター FOXCRIME
[LAW & ORDER 性犯罪特捜班]
©Universal Television Distribution

3 / 1
サスペンス・犯罪捜査専門
チャンネル「サスペンスシアター
FOXCRIME」を配信開始
5ページをご覧ください



サイファイチャンネル
「ユーリカ〜事件です!
カーター保安官〜」
(C)2007 Universal Network
Television LLC.
All Rights Reserved.

4 / 1
SF映画・ドラマ専門チャンネル
「SCI FI (サイファイチャンネル)」
を配信開始
5ページをご覧ください



5 / 25
J:COMグループ全国一斉
地域清掃活動「CLEAN
UP OUR TOWN」を実施
17ページをご覧ください



9 / 1
行政向け緊急地震速報
サービスを提供開始

8 / 25
福岡ケーブルネットワーク(株)を
連結子会社化

2008年



1 / 31
(株)京都ケーブルコミュニケー
ションズを連結子会社化

2 / 1
サービスエリア外の大型集合住宅
に、3サービスの提供開始



THE TOKYO TOWERS
(東京都中央区)

2 / 9
「雪像ミュージアム2008
〜さっぽろ雪まつり衛星
生中継〜」を配信



3 / 24~30
有料多チャンネルの魅力をより深く
知っていただくためのイベント
「Channel Cafe」を特別協賛



4 / 1
「チャンネル銀河」
を配信開始
5ページをご覧ください



チャンネル銀河
銀河テレビ小説「コラ! なんぼしよっと」
(C)NHK 2008年10月放送作品

4 / 3
地上デジタル放送の普及促進に
向けた取り組みを発表

4 / 3
J:COM オン デマンドで
「NHKオンデマンド」の
配信予定を発表
(2008年12月より)
7ページをご覧ください

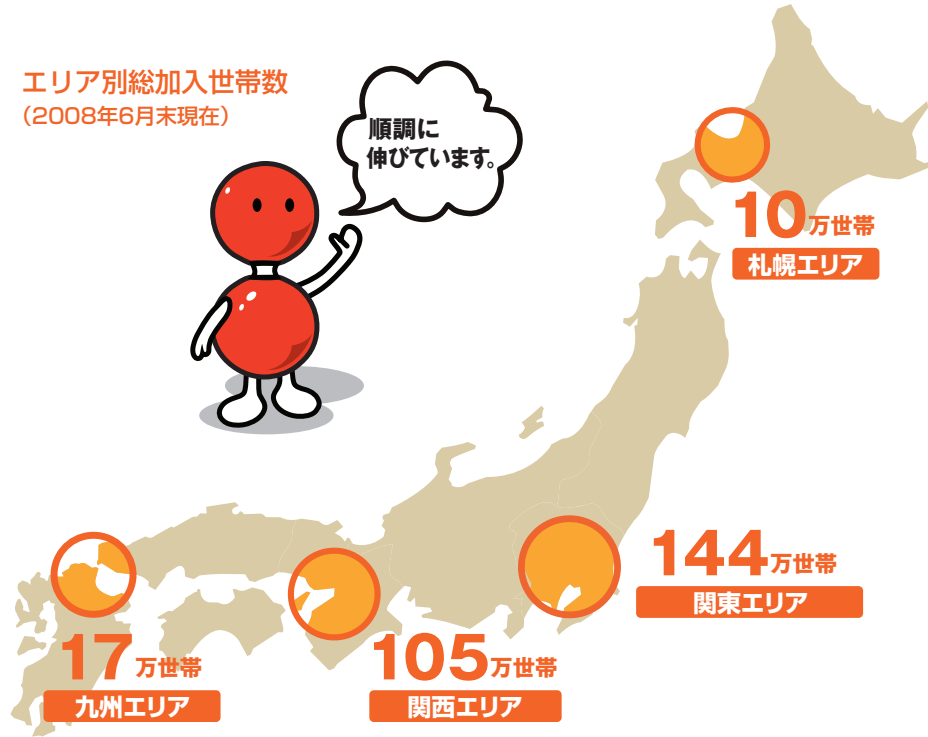


7 / 1
連結子会社の(株)ジェイコム東京と
さくらケーブルテレビ(株)が合併

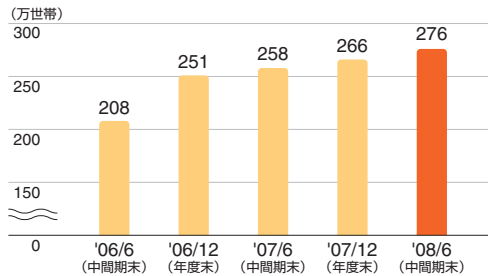
8 / 1
J:COMチャンネルで
「J:COMお試しアワー」がスタート



エリア別総加入世帯数
(2008年6月末現在)

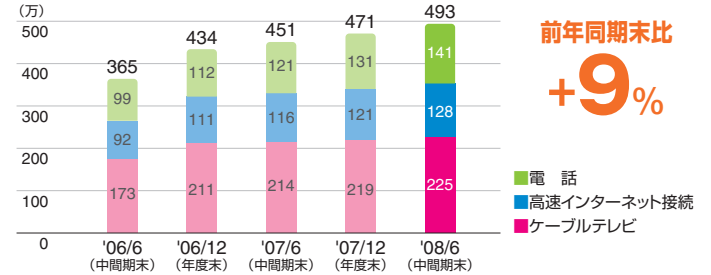


総加入世帯数



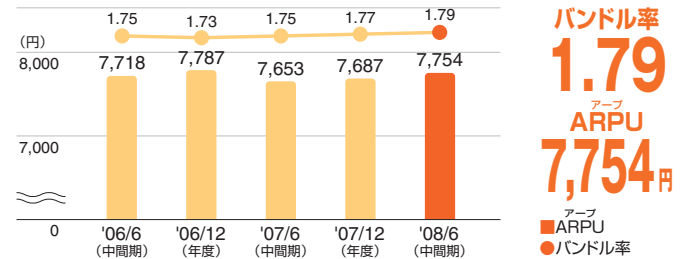
前年同期末比
+7%

総提供サービス数



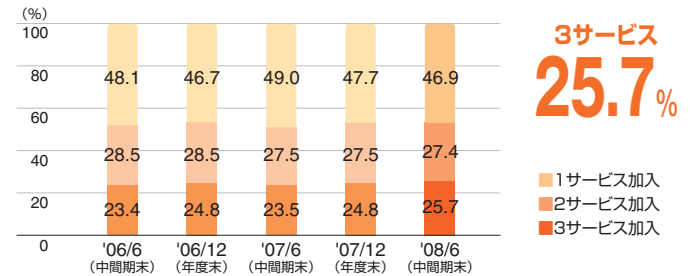
前年同期末比
+9%

加入世帯当たりの月次収入 (ARPU) 及びバンドル率*



*バンドル率：加入世帯当たりサービス提供数

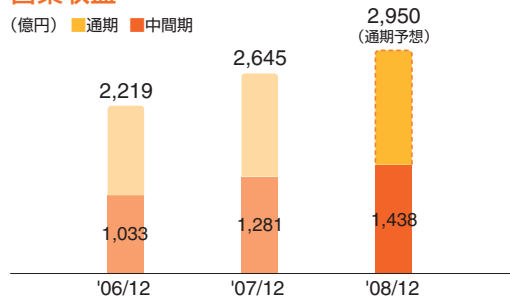
加入サービス数別の世帯構成比



3サービス加入
25.7%

営業収益

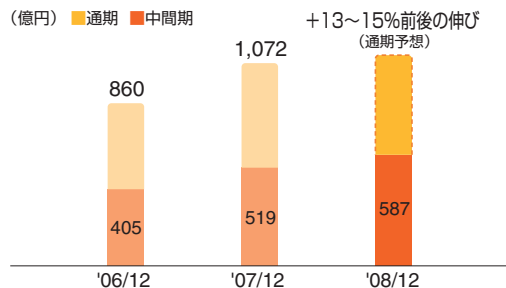
(億円) ■ 通期 ■ 中間期



既存サービスエリアにおける各サービスの加入世帯数の増加及び連結子会社の増加、またデジタルサービス加入世帯数の増加等により、営業収益は前年同期から157億円、12%増加し1,438億円となりました。

オペレーティング・キャッシュ・フロー (OCF) ※1

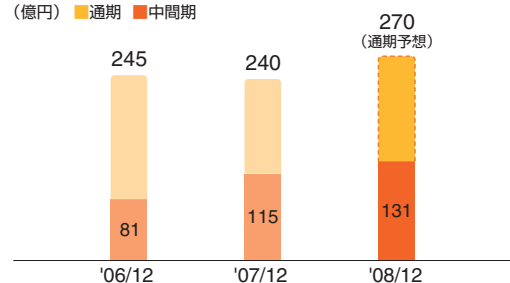
(億円) ■ 通期 ■ 中間期



営業収益の増加とともに、営業費用の増加の抑制等により、OCFは前年同期から68億円、13%増加し587億円となりました。

中間(当期)純利益

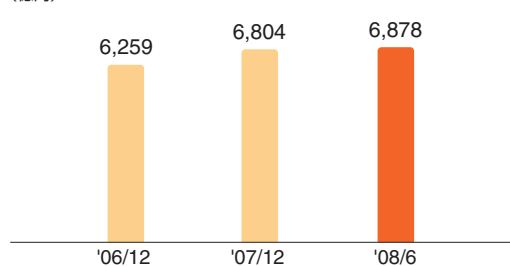
(億円) ■ 通期 ■ 中間期



法人税等が増加したものの、中間純利益は、前年同期から15億円、13%増加し131億円となりました。

総資産

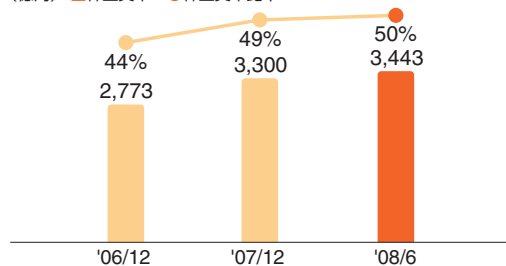
(億円)



当中間期末の総資産は新規連結子会社及び事業の取得により、前期末から74億円増加し6,878億円となりました。

株主資本/株主資本比率

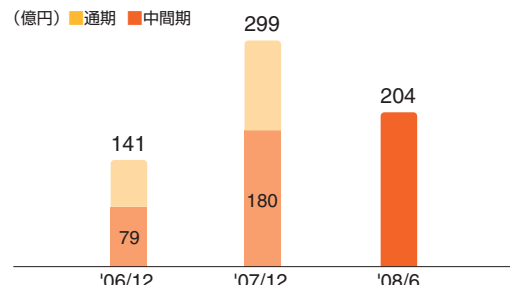
(億円) ■ 株主資本 ● 株主資本比率



中間純利益131億円を計上したことなどにより、株主資本は前期末から143億円増加しました。一方、株主資本比率は前期末の49%から50%に上昇しました。

フリー・キャッシュ・フロー ※2

(億円) ■ 通期 ■ 中間期



営業活動によるキャッシュ・フロー448億円から設備投資額244億円を差し引いた、当中間期のフリー・キャッシュ・フローは204億円となりました。

●用語解説(※1)

オペレーティング・キャッシュ・フロー(OCF)とは：営業収益より番組・その他営業費用、販売費及び一般管理費を控除したものに、株式報酬費用を加えて算出しています。貸借対照表における負債の大きさや会計処理の違いなどによって生じる利益への影響を取り除いた収益力をみるために使う指標です。

●用語解説(※2)

フリー・キャッシュ・フローとは：営業活動によるキャッシュ・フローから、設備投資額を控除して算出しています。企業の本来の事業活動から得られるキャッシュ・フローに設備投資額を加減したもので、企業が自由に使用できる資金を表します。

■中間連結損益計算書(米国会計基準)(億円)

区分	当中間期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)	前中間期 (2007年1月1日から 2007年6月30日まで)	増減率
営業収益	1,438	1,281	12%
利用料収入	1,221	1,128	8%
ケーブルテレビ	654	605	8%
高速インターネット接続	355	326	9%
電話	212	196	8%
その他	217	154	41%
営業費用	1,184	1,078	10%
番組・その他営業費用	558	513	9%
販売費及び一般管理費	293	250	17%
(OCF)	587	519	13%)
減価償却費	332	315	6%
営業利益	254	203	25%
その他費用	17	16	7%
少数株主利益	10	11	△8%
法人税等	97	61	59%
中間純利益	131	115	13%
1株当たり中間純利益(円)	1,907	1,803	6%
希薄化後1株当たり中間純利益(円)	1,903	1,796	6%

*増減額及び率は財務諸表に基づく実績値をベースに算出しております。

■主要財務データ(億円)

区分	当中間期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)	前中間期 (2007年1月1日から 2007年6月30日まで)
設備投資額	244	292
フリー・キャッシュ・フロー	204	180
1株当たりデータ:		
中間純利益(円)	1,907	1,803
株主資本(円)	50,214	45,518
レシオ:		
OCFマージン(%)	40.8	40.5
ROE(%)*	7.7	8.1

*株主資本は期首及び中間期末の平均値を使用。

■中間連結貸借対照表(米国会計基準)(億円)

区分	当中間期末 (2008年6月30日現在)	前期末 (2007年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	604	526
投資	162	216
有形固定資産	3,385	3,372
その他資産	2,726	2,689
資産合計	6,878	6,804
負債の部		
流動負債	744	858
固定負債	2,625	2,592
負債合計	3,369	3,450
少数株主持分	66	54
資本	3,443	3,300
負債、少数株主持分及び資本合計	6,878	6,804

■中間連結キャッシュ・フロー計算書(米国会計基準)(億円)

区分	当中間期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)	前中間期 (2007年1月1日から 2007年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	448	472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154	△135
現金及び現金同等物の増減・純額	94	89
現金及び現金同等物の期首残高	229	205
現金及び現金同等物の中間期末残高	323	294

2008年12月期連結業績予想

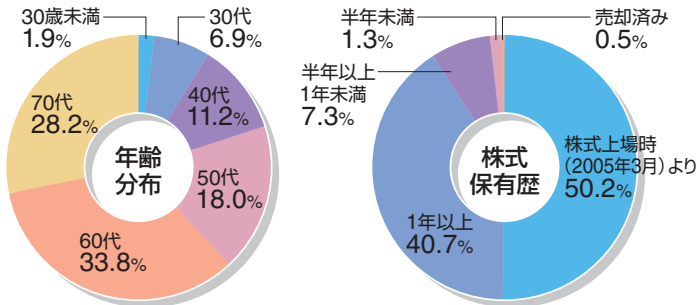
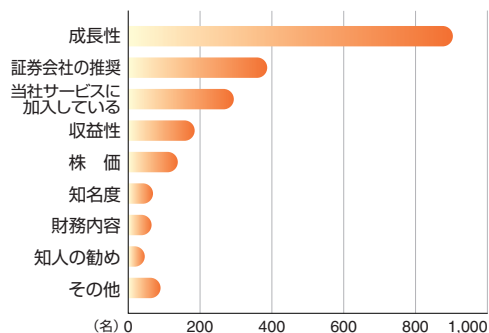
営業収益	営業利益	当期純利益
2,950 億円	500 億円	270 億円
前期比11.5%増	前期比16.8%増	前期比12.5%増

アンケートの実施結果

J:COMでは株主の皆さまが私たちに何を期待され、どのようなIR活動を希望されているのかを知るため、**11,370名**(2007年12月31日時点)の株主の皆さまを対象に、ハガキによるアンケート調査を実施いたしました。本調査では、全株主さまの**14.1%**に当たる**1,606名**の方々からご回答いただきましたので、その結果をご報告させていただきます。

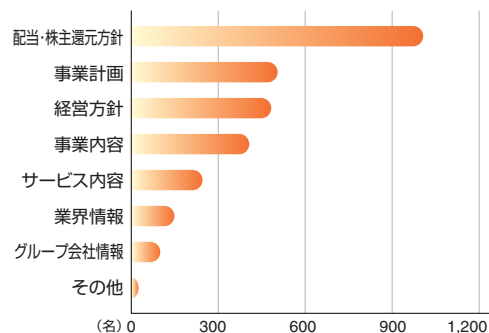
Q1 当社の株式を購入された理由は
何でしょうか？

回答 回答をお寄せいただいた半数以上(904名、56%)の方が「成長性」を挙げられています。今後も「ボリューム+バリュー+コンテンツ戦略」で持続的成長を図ってまいります。



Q2 今後どのような情報を知りたいですか？

回答 「配当・株主還元方針」が63%(1,007名)を占めました。当中間期より配当を実施することいたしました。今後も財務体質の維持・強化を図りつつ、長期的な視点から適切な利益還元を行ってまいります。



株主さまから寄せられたご意見・ご感想

株主さまからのご意見を紹介します。(順不同)

- 配当性向を上げ、より一層株主還元を努めて下さい。(40代、男性)
- 業績が安定しているため今後も期待している。株式は持ち続けたい。(20代、男性)
- 大阪で開催された一般投資家対象の会社説明会に参加しました。是非また大阪で開催してほしいと思います。(70代、女性)
- 居住地がJ:COMのサービスエリア外のため、サービスを利用できないことが残念です。(40代、男性)
- アフターサービスが充実している。パソコンやテレビのトラブルで連絡をしたら、電話に出る人の対応が親切で、また訪問の約束の日時は守り、大変感謝しています。(60代、男性)

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。頂戴したご意見・ご要望は今後のIR活動に活かしてまいります。

株主還元策について

当社は、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題のひとつと認識しております。このたび当社グループにおいて将来可能性がある企業買収や設備投資等のための内部留保の充実を図るとともに、安定的かつ継続的な利益還元策の実施を目指し、当中間期より配当を実施することといたしました。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり250円の特別配当を含む500円とさせていただきます。また期末配当金につきましては、1株当たり250円を予定しております。当社は、今後も引き続き事業の持続的な成長を図るとともに、株主の皆さまへの利益還元についても積極的に取り組んでまいります。

●2008年12月期の配当予想

中間配当金	期末配当金	年間配当金
500円	250円	750円
普通配当 250円 特別配当 250円	普通配当 250円	

●株主・投資家の皆さま向けIR資料のご紹介

◆IRサイト (<http://www.jcom.co.jp/ir.html>)



<IRホームページ>



個人投資家向けページ

右記のIR資料はJ:COMのIRホームページでもご覧いただけます。

◆説明会資料

決算説明会の動画や、プレゼンテーションスライドなどを掲載しています。

◆株主・投資家の皆さまへ

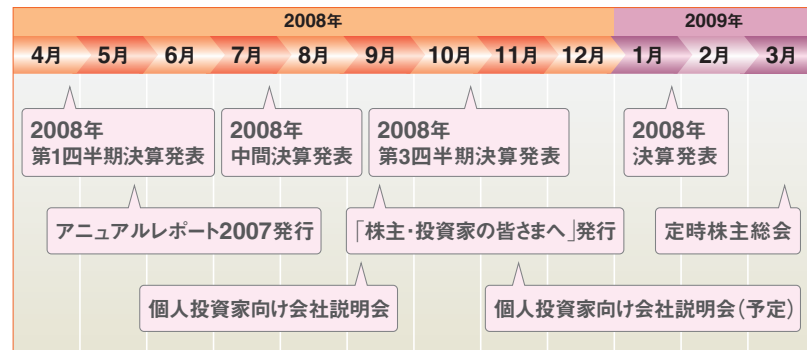
株主の皆さまにお送りしている小冊子です。事業内容、経営方針、財務状況等を分かりやすく解説しています。

◆アニュアルレポート

アニュアルレポートは事業年度終了後に株式を上場している企業が作成する報告書です。財務諸表をはじめ、経営内容について総合的な情報を掲載しています。

年間のIR活動について

J:COMでは、個人株主・投資家の皆さまを対象とした会社説明会を積極的に開催し、当社事業及び事業戦略への理解促進を図ってまいります。



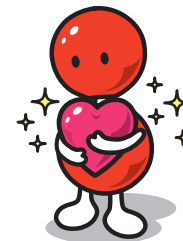
株主・投資家の皆さまへ



アニュアルレポート



当社はジャスダック証券取引所が選定する「IR優良会社」及び大和インベスター・リレーションズ(株)が選定する「インターネットIRサイトの優秀企業賞」を受賞しました。今後も株主・投資家の皆さまに、迅速でわかりやすい情報発信に努めてまいります。



J:COMは、さまざまな事業活動を通じて地域社会とともに持続的成長を果たしていきたいと考えています。そのために、互いに支え合う精神に基づく災害復興支援、地域との共生のための地域振興、そして美化活動をはじめとした環境への取り組みなど、さまざまな分野における活動を積極的に推進しています。

災害復興支援

募金オンデマンド

J:COMグループでは、「J:COM オン デマンド」を利用した「募金オンデマンド」を提供しています。2008年5月には、ミャンマー・サイクロン災害／中国・四川大地震への救援金を、また6～7月には岩手・宮城内陸地震の義援金を受け付け、被災された方々への支援を広く呼びかけました。また、ジェイコムショップの店頭や全国のJ:COM各社の社内においても被災地の早期復興を願い、募金活動を行いました。お客さまからお寄せいただいた募金に、当社及び従業員からの募金を上乗せした金額を、日本赤十字社を通じ、被災地へ寄付いたしました。



「募金オンデマンド」の購入画面

地域振興

いきいきプロジェクト

J:COMグループでは、団塊の世代を中心としたシニアの方々が現役時代の専門知識や能力、資格を活かした活動や趣味を追求できるコミュニティ活動「いきいきプロジェクト」を支援しています。全国のJ:COM各社の社屋や、コミュニティチャンネル(J:COMチャンネル)、番組情報ガイド誌やホームページを地域のお客さまの活躍の場として提供し、地域振興のお役に立ちたいと考えております。



J:COM加入者が企画・運営する地域散策会
(J:COM 調布・世田谷)



世代を超えて楽しむ「折り紙教室」をJ:COM局舎にて開催
(J:COM YY八千代)

地域美化推進

全国一斉清掃活動

J:COMグループは、2008年5月25日に、全社一斉の清掃活動「CLEAN UP OUR TOWN (私たちの街をきれいに)」を実施しました。この活動は、J:COMのサービスエリア周辺のゴミ拾いをはじめとした清掃に取り組み、地域の美化に貢献するものです。地域のお客さまにも多数加わっていただき、全拠点合計で約10,000人が参加し、15,502kgのゴミを回収しました。



横断幕を使って告知し、広く地域のお客さまに参加を呼びかけました。(J:COM 北九州)



みんなで力をあわせて、たくさんゴミを回収しました。
(J:COM 東関東)

会社概要 (2008年6月30日現在)

会社名	株式会社ジュピターテレコム
ブランド名	J:COM
設立年月日	1995年1月18日
本社所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30
資本金	1,171億円
従業員数	グループ総計9,825名
役員	
代表取締役社長	森泉 知行
代表取締役副社長	福田 峰夫
常務取締役	マーク・ルイス
常務取締役	青木 智也
取締役	山口 舜三
取締役	加藤 徹
取締役	松本 正幸
取締役	大澤 善雄
取締役	中村 仁
取締役	林 正俊
取締役	ミランダ・カーチス
取締役	グラハム・ホリス
取締役	西村 泰重
常勤監査役	青木 二仁
監査役	ジョン・サンドバル
監査役	マイケル・エリクソン
監査役	長瀬 仁

連結子会社 (2008年8月1日現在)

●ケーブルテレビ運営会社

株式会社ジェイコム札幌
株式会社ジェイコム東京
株式会社ジェイコム湘南
土浦ケーブルテレビ株式会社
株式会社ジェイコムさいたま
株式会社ジェイコム千葉
株式会社ジェイコム関東
株式会社ジェイコムウエスト
吹田ケーブルテレビジョン株式会社
高槻ケーブルネットワーク株式会社
東大阪ケーブルテレビ株式会社
豊中・池田ケーブルネットワーク株式会社
北河内ケーブルネット株式会社
株式会社ケーブルネット神戸芦屋
株式会社京都ケーブルコミュニケーションズ
株式会社ケーブルビジョン21※
株式会社ジェイコム北九州
株式会社ケーブルネット下関

●その他

ジュピターエンタテインメント株式会社
ジュピターゴルフネットワーク株式会社
有限会社ジュピタースポーツ
J-Sports, LLC
株式会社ジュピタービジュアルコミュニケーションズ
チャンネル銀河株式会社
アットネットホーム株式会社
関西マルチメディアサービス株式会社
有限会社ジェイコムファイナンス
株式会社ジェイコムテクノロジー

株式の状況 (2008年6月30日現在)

発行可能株式総数 ……………20,000,000株
発行済株式総数 ……………6,936,442株
株主数 ……………11,190名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
住商/エルジーアイ・スーパー・メディア・エルエルシー	3,987,238	57.48
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	522,255	7.53
住友商事株式会社	253,676	3.66
リパティエ グローバル ジャパンツウー, エルエルシー	253,675	3.66
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	112,232	1.62
ザチェースマンハッタンバンク エヌエイロンドンエスエル オムニバス アカウント	101,421	1.46
ゴールドマン・サックス・ インターナショナル	100,226	1.44
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウントアメリカンクライアント	100,126	1.44
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	83,688	1.21
株式会社ジュピターテレコム	80,000	1.15

※2008年9月1日付で当社の持分法適用関連会社である福岡ケーブルネットワーク株式会社と合併し、株式会社ジェイコム福岡となりました。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 ※2008年10月1日から東京都中央区八重洲二丁目3番1号 に変更となる予定です。
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	(住所変更等用紙のご請求) フリーダイヤル 0120-175-417 (その他のご照会) フリーダイヤル 0120-176-417
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない 事由によって電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.jcom.co.jp/ir/

サービス料金のご案内 ●月額基本料金(税込)

 J:COM TV デジタル……………¥5,229

J:COM TV デジタル コンパクト……………¥4,389

 J:COM NET ウルトラ 160Mコース…¥6,300

J:COM NET 30Mコース……………¥5,775

J:COM NET 8Mコース……………¥5,229

 J:COM PHONE……………¥1,397

 J:COM MOBILE……………¥2,900

複数のサービスにご加入いただくと、サービスの組み合わせに
応じて割引が適用されます。

J:COM

株式会社ジュピターテレコム

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30
芝NBFタワー TEL.03-6765-8157

<http://www.jcom.co.jp/>